

郷土誌だより (10月号)

美穂地区郷土誌委員会

2016年10月1日

美穂地区郷土誌ができました

かねてよりお知らせしております美穂地区郷土誌は10月の中旬ごろに全戸に配布します。

上記郷土誌は第1章から第12章までの編成で中身の濃い内容となっています。

美穂地区文化祭で、下味野周辺で発掘された遺跡品を展示

来る10月29日(土)、30日(日)で開催される美穂地区文化祭(公民館主催)に下味野周辺(下味野童子山遺跡、篠田古墳群、下味野古墳群)から発掘された写真や出土遺跡品を展示します。

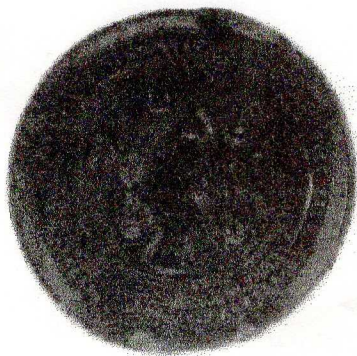
「美穂郷土誌」第2章(3)遺跡、古墳群を記載しておりますので事前に見て頂ければ幸いです。

展示品の一部を照会。

篠田古墳群から発掘された「^{ひきんきょう}飛禽鏡」と称される銅鏡が出土している。「飛禽鏡」の出土は全国で12例目と非常に少なく貴重かつ注目されている。

今回出土した「^{ひきんきょう}飛禽鏡」は緑の斜縁の半肉彫である。製作地は中国大陸の徐州説、朝鮮半島の楽浪郡説があるが、楽浪周辺からの出土が集中することから、現在のところ楽浪郡説が有力と思われる。「飛禽鏡」の出土地が九州や

日本海側に多いことから、中央政権を経由せず大陸との直接的な交流が考えられ、被葬者の社会的地位を窺わせる。



<飛禽鏡>

美穂郷土誌委員会から

郷土誌の発刊で終わらず、今後も「郷土誌」の内容を基本として、適宜「郷土誌だより」でお知らせ致します。